

君は王女 僕は召使  
運命分かつ 哀れな双子  
君を守る その為ならば  
僕は悪にだってなってやる

期待の中僕らは生まれた  
祝福するは教会の鐘  
大人たちの勝手な都合で  
僕らの未来は 二つに裂けた  
たとえ世界の全てが 君の敵になろうとも  
僕が君を守るから 君はそこで笑っていて

君は王女 僕は召使  
運命分かつ 哀れな双子  
君を守る その為ならば  
僕は悪にだってなってやる

隣の国へ出かけたときに  
街で見かけた緑のあの娘  
その優しい声と笑顔に  
一目で僕は恋に落ちました

だけど王女があの娘のこと  
消してほしいと願うなら  
ぼくはそれに応えよう  
どうして？涙が止まらない

君は王女 僕は召使  
運命分かつ 狂おしき双子  
「今日のおやつはプリオッシュだよ」  
君は笑う 無邪気に笑う

もうすぐこの国は終わるだろう  
怒れる国民たちの手で  
これが報いだというのならば  
僕はあえて それに逆らおう  
「ほら僕の服を貸してあげる」  
「これを着てすぐお逃げなさい」  
「大丈夫 僕らは双子だよ」  
「きっと誰にもわからないさ」

僕は王女 君は逃亡者  
運命分かつ 悲しき双子  
君を悪だというのならば  
僕だって同じ 血が流れてる

むかしむかしあるところに  
悪逆非道の王国の  
頂点に君臨していた  
とてもかわいい僕の姉弟

ついにその時はやってきて たとえ世界の全てが  
終わりを告げる鐘なる 君の敵になろうとも  
民衆などには目もくれず 僕が君を守るから  
君は私の口癖を言う 君はどこかで笑っていて

君は王女 僕は召使  
運命分かつ 哀れな双子  
君を守る その為ならば  
僕は悪にだってなってやる

もしも生まれ変われるならば  
その時はまた遊んでね